

令和5年8月28日
大阪公立大学医学部附属病院

抗凝固剤の重複処方により抗がん剤治療の開始が遅れた事例について

当院において、抗凝固剤が重複処方され、抗がん剤治療の開始が遅れた事例が発生しましたことをご報告申し上げます。この事例におきまして、速やかに医療安全に関する会議を開催し検討を行いました。その結果、処方内容を診療科間で正しく伝達する仕組みを構築し、既に再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。